



【学校教育目標】 磨き 輝き 未来をともに拓く朝日の子の育成

# 朝日っ子

長崎市立朝日小学校  
学校便り 第16号  
令和5年12月22日  
校長 米村 郁子

## 雪の2学期終業式となりました。

2学期最後の一日は雪となりました。稲佐山が白い雪化粧をして幻想的な中、子どもたちは雪遊びを楽しみました。時には雪もいいものですね。さて、終業式の校長講話では、2学期に頑張っていた3つのことについて次のように振り返りました。

1つ目は、「あいさつ」です。朝の挨拶がよくなりました。1年生は笑顔と大きな声で元気いっぱいでした。また、「校長先生、おはようございます。」とプラスワンの挨拶ができる人が増えてきたことも嬉しいことです。3年生は、朝も、給食の時も、プラスワンの上手な挨拶ができました。他の学年でも、目を見て挨拶できるようになったり、自分から先に挨拶ができるようになったりと、素敵な挨拶が増えてきました。

2つ目は、学習をする中で、「なぜかなあ。」と疑問をもってほしいという話をしました。2年生と4年生は、研究授業がありました。2年生は、分かりやすい説明書を書くためにはどんな言葉を入れるとよいかとじっくり考えて、「おもちゃの丸わかり説明書」を作り上げることができました。4年生は、「ごんぎつね」を読みながら、ごんと兵十の気持ちの変化を詳しく読み取っていて、とても感心しました。2学期は登校する日が77日あり、たくさんのことを学びました。「なぜかなあ。」という学びの種から芽が出て、すくすくと育ち、皆さんは賢くなりました。

3つ目は、「友達とつながる」ということでした。2学期は、修学旅行や宿泊学習、小音会や小体会、交歓会、日蘭交流会、社会科見学、町探検、幼稚園・保育園との交流会、朝日フェスティバルなど、たくさん行事があり、友達と協力する場面がたくさんありました。3・4年生は、心を一つにしてあの難しい「エルクンバンチェロ」の合奏を完成させました。5年生は、宿泊学習や日蘭交流会を通して、仲間と協力することの大切さを学びました。6年生の修学旅行では、バスの中でもグリーンランドでもたくさん笑顔が見られて、仲の良さ、ユニークさを感じました。小体会で準優勝できたのも、素晴らしいチームワークがあったからだと思います。行事を通じて、どの学年も友達と深くつながることができたと思います。

2学期は、たくさんことを学び、いろいろな経験ができ、たくさん笑顔と心のつながりが生まれました。3学期も「笑顔で登校！笑顔で学習！笑顔で下校！」となるように頑張っていきましょう。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校の教育活動はほぼコロナ禍前の様子に戻って参りました。校長講話では語り尽くせないほど、2学期の教育活動が充実し、その中で子どもたちは大きく成長しました。保護者の皆さまには、常に多くの御支援と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。



## クロームブックについて

子どもたちに一人一台の端末が貸与されてからまもなく3年経ちます。A1ドリルのキュビナは、基礎基本の定着、苦手克服に最適なツールです。冬休みの学習ではぜひ積極的に取り組ませていただきたいと思います。なお、クロームブックは学習用として貸与されていることを子どもたちと確認しております。学習以外に使用したり、デスクトップの背景等を変更したりしないように御家庭でも御注意願います。